

GMT20221112_chatlog

[CULTIBASE] おはようございます！まもなく開始となりますので、もう少々お待ちください^^
おはようございます！ 今日どうぞよろしくお願いします！
おはようございます！ 今日ばばんさん、だんさんコンビですね！！
おはようございます。本日もよろしくお願いします！
おはようございます。よろしくお願いします。
サムネの青い部分から「浸透」みが伝わりますw
チームのメンバー自体も、ホントに多様になってますもんね。
「聞く力」
まずは自分が一番楽しむ、ワクワクすること
関係づくり
[CULTIBASE] チャットインテマ： Q.誰かと協働（共創）する時に大切にしていることはなんですか？
「相手を理解すること。」かな。
コミュニケーション
お互いの価値観の共有
相手を否定しない
相手が期待していることをまず、理解すること。
目的は同じなのに、自分と違う感じがする違和感が何かを対話で探す
課題共有と役割分担
情報の偏りをなくすこと
目指すところ共有
楽しみながら、Playful
健全なコンフリクト
「前提を共有しあうこと」ですかね？
小田さん、フィードバックありがとうございます！
「オーケストラ」から学べる部分がたくさんありそうだな〜と「共創」から感じました
先週と同質性と差異の話にも通じますね。
軍隊ではない一体感かな、と
なんか会話が噛み合わない気がしつつも、誰も反対せず、良いね〜みたいになっているときに、ちょっと飲み会をしてみるとか
一体感は御旗かな
「建築アイドル」が気に入り過ぎて...www
あ、www
[小田] ここで答えします！
[瑞] ご質問でも感想でも非常にありがたいのでぜひ！🥰 共創プロジェクトでなくてもこの三つはプロジェクトにとって重要じゃないか？
[小田] まさにですよ
[瑞] 吉備さんの視点だと、今の役割やお仕事のにも社会課題の視座から入っていらっしゃるかなと思いますが、社内だけのPjtなど他にも転用できる知見になりそうですね…！
利害関係から共通目的が作れない、もしくは共通目的が浸透しない、みたいな事への対処について、どう対処していくのを知りたいです
…と思ったら時系列で比較するのかな？！
[小田] 利害関係という葛藤に対して、どう向き合っていくのかというところで、後ほどディスカッションにつながっても面白そうです…！
チーム内でありたい姿の認識を確認するのに転用したいです〜 もわっとした「ありたい姿」を視覚化できると楽しそう！
オープンイノベーションのPMBOKみたいな話をしているのかな？
[小田] PMBOKに、さらに不確実性にどう対応するか、というところで整理されているのがP2Mモデルというものだと思いますが、この辺りの変化や不確実性を考慮したモデルになっているとも言えますね…
安齋さんの「なんでカーナビ作ってるんですか？」の話を思い出します。
ソフトウェアのベータ版ユーザーテストに参加するのと何が違うのかな？
ポーナストラックは、駐車場の広場でイベントやったりもして、ハードだけでなくソフトでも頑張ってますよねー
[小田] テストに参加する側の主体性の度合いが上がっていく（パーパス自体を自分たちで書き換えていく側にもなる）というところが大きな違いかもですね！
[小田] ポーナストラック、ほんと最近いろんな方が言及されていますよね！活動も面白いものばかり…
[小田] 東京近郊の方は、今日の午後のお出かけにぜひ…笑
うっ〜ん。行政のパンフレットによく出てくる、コンサルがまとめたチャートのように、ちゃんと説明を聞かないとよく分からない、何となく（良さそうに見えるので）胡麻化されやすい、リスクを感じました。チャート
[小田] 実際に、こんな綺麗に行かないよねというのは確かにそうだと思います！なので大切なのは、自分たちがこのモデルを作ることにあるような気がしますね…
オープンイノベーションのステークホルダーマネジメントの視覚化の手法について説明しているのかな？
↑検討のプロセスの可視化や言語化が大事なんでしょうね
[小田] 現状のモデルを眺めながら、問いを立てて変化の可能性を語り合う、みたいなことができそうな気はします！（今写っている未来のモデルなんかは、まさにその対話の形跡ですね）
円の中に入る前の状態も表現したくなる。
何が入る接点になったとか
>↑検討のプロセスの可視化や言語化が大事なんでしょうね
[瑞] たしかに、そうかもしれないですね…！複雑に目的が絡み合うからこそ、「可視化」してお互いの違いを認識できるようにするというところが大事なのかも
[小田] 個人情報
共創で生み出された社会価値の受益者（上）が共創して価値を生み出す側（下）にも参画できるようになれる何かが言語化されるのもっといいかな。
[小田] その問いが立つだけでも、いわゆるステークホルダーマップとはちょっと違うものになりますよね
小田さんの「共創から問いが生まれる」っていいですね。人は問われると行動を起こせるのかも。
対話の土台としてのパーパスがあり、対話でアップデートされるという話はなるほどとなりました
[小田] 共創から問いが生まれ、そこに新たな共創が広がっていくという循環が大事そうですね
生きた活動ですね。楽しそう。
プロセスや言語化の共通ツールとしては「妙なフラット感」が気になります。問題意識の方向性や重さの違い、ステークホルダーのチカラの差、また、一つのグループにくくられてしまうことへの違和感とか、、、分かり易い
消した部分が気になる
確かに意思決定への力量差はありますね
まとめられたもの以上に、このモデルをつかったり、眺めたり、書き換えたりしていくプロセスに価値があるんですよね
たしかに、必要なフラット感を構築すること、についてのやり方も気になります
景色交換！楽しそう
社内活動で考えてみると、社内の中でその人がどういう立場の人なのかという役割を明確化しておくことで、景色交換ができそう。
[小田] でっかいパーパスモデルの用紙を下にしいて、みんなで座る位置変えながら語り合うみたいなやりたいなあって思っています
TRPGっぽさを感じました
[小田] TRPGっぽさたしかにありますね！
山の図！
[CULTIBASE] 事業開発における提供価値の捉え方 -顧客と新たな関係性を紡ぐための「山の図」の提案 https://www.cultibase.jp/videos/7708
ダブルダイヤモンドで言えば、前半で共通したパーパスをつくり、後半でそのパーパスを実現する方法や問題を解決する、といった感じでしょうか？この後半のプロセスに「パーパスモデル」を使うならありかな〜と思います
経営計画や経営理念ってまとめる対象（社員）の役割・価値観の多様性ゆえに抽象的で言葉自体へのSympathyしづらいところ、Empathy（関係者の見えている景色を共有する）を目指すというのは良さそう
後で見るメモ： https://futurecenteralliance-japan.org/projects/purpose-engineering
[小田] ダブルダイヤモンド、実はちょっとアップデートを定義しようと思っているのですが、左側自体を問い直し続けることが大事だよなと思っていて、その前提のモデルになり続けるのがパーパスモデルというところは、
実際には小目的からスタートしちゃう（目の前に見えている厄介な問題、ミナベさんがいうところのモグラ叩きのモグラ）ことが多くて、そこから共通目的を帰納的に導くのが難しくて挫折しがちなイメージ
[小田] 遠心力と求心力は、先週の話と来週の話のどっちにも通じますね

目的工学ってソフトウェアエンジニアリングにおける要求工学に似ている？
>目的工学ってソフトウェアエンジニアリングにおける要求工学に似ている？ 同じこと考えてました！
本心が出せるできる環境の造成
「相手のことを理解している、というのは自分の認知バイアス」←これは目から鱗的
バイアスのすり合わせ、って観点は必要ですね
[小田] 相手のことを理解している、なんて、とても言えないんですね
[小田] こちらで作れます！ https://purposemodel.zukai.co/
わからないなりにわかるうとし続けるためのツール、として使ってみたいと思いました
[小田] ツールの説明書 https://note.com/bizgram/n/ndf3dcffd4d7f
小田さん、問い続けた結果、「共通目的」の書き換えてしまうとステークホルダーが離散してしまリスクがありそうですね。この辺りの話しを考えていると「政治」というものも必要に思いました。
>問い続けた結果、「共通目的」の書き換えてしまうとステークホルダーが離散してしまリスクがありそうですね。この辺りの話しを考えていると「政治」というものも必要に思いました。
[小田] ありがとうございます！この辺りを「離散」と捉えるのか、生態系の変化の営みとして捉えるかというところは難しいところですね…
[小田] 個人的には、ある種パーパスから離れていく動きも許容しなければ、本質的に豊かな生態系は生まれないのでは？と思っています
短期と中長期で目指すところが変わる、というのはわりとよくありそうだと思うので、最適化がかかるのは自然に感じます
ビジネスライクな関係性にはハマらないかもしれませんが、システム開発プロジェクトのキックオフとかでこれを考えてみると良さそうだなと思いました。今は、プロジェクトマネージャーがステークホルダーマネジメントと
ワークショップ型組織を具現化していくためにも大事ですね。 いるんな使い方、可能性のあるツールだと感じました。 さっそく社内で試してみよう。
>ビジネスライクな関係性にはハマらないかもしれませんが、システム開発プロジェクトのキックオフとかでこれを考えてみると良さそうだなと思いました。今は、プロジェクトマネージャーがステークホルダーマネジメント
確かにPMのステークホルダーマネジメント、特にユーザーの巻き込みに使えないかなーとちょっと思いました。価値提供にユーザーの参画は非常に重要なので、受益者の立場側にどっかり座られると困るし。
パーパスモデルがあると、ステークホルダーごとの役割を話す土台にできるって感じかなあ。開示のための材料、っていいですね
関わっているプロジェクトの実行委員長は、毎回大学生。「助ける」が自然発生するように。
>確かにPMのステークホルダーマネジメント、特にユーザーの巻き込みに使えないかなーとちょっと思いました。価値提供にユーザーの参画は非常に重要なので、受益者の立場側にどっかり座られると困るし。 ユーザーと開発の対立構造を協調関係に持っていきそうですね まさに持ちつ持たれつで・・・
[小田] 弱さを開示しながら、一緒にパーパスを語り形作っていくという営みが大事だよなと、新卒1年目からマネージャーあやってきた中での学びです ここが共創なのかなという気がしています。
価値交換の矢印が増えていくっていい表現ですね。
対話のためのツールとしてどう使うと盛り上がるか、考えてみたくなりました
「ごだわり」を見つけて育てること「とらわれ」を疑い問い直すことの循環ですね。
「在りたい姿とか考えたことないんだよね〜」というチームでの対話の第一歩はどのように始めたらいいのかがになります
「自分が何かやりたいと思った人でないと対話は起こらない」 至言だなあ
カツアゲ?!
指示命令を通すために「自分が何をやりたいか」を封じ込めてきたのがこれまでで、今後は対話をするために「自分が何をやりたいか」を 問い直すことが必要
わかりみ!!!
待てるか、ってめっちゃ大事っすね。子育てもおんなじだろうな…
[CULTIBASE] カツアゲの由来です ファシリテーションは"カツアゲ"である?! 詩人に学ぶ創造性を引き出すコツ CULTIBASE Radio Facilitation #21 https://www.cultibase.jp/radios/facilitation-radio/10869
「待つ」だけでなく、「働きかける」ことはできないだろうか・・・
問いが立ち上がってくるのを待つ。見守る感じかな？
> 待てるか、ってめっちゃ大事っすね。子育てもおんなじだろうな… 僕も子育てに似てるなあと思ってました (笑
問いと場づくりの工夫に成功すれば、自分で何かやりたいと思っていたヒトも、共感的理解や健全な違和感からきっかけを得ることはできるとしています。
>僕も子育てに似てるなあと思ってました (笑 「働きかける」ができたらどれだけ助かるか。。。
子育て同様に期待しすぎず働きかけるのは大事なのかもですね
一緒に同じものを見ながら異なる視点を共有できるのはいいと思いました
「問いのデザイン」に続く、「待ちのデザイン」
新たな「デザイン本」が""
タイパが叫ばれる今、待てない人多いので必須科目かもw
[小田] 待ちの作法か、待ちのデザインかw
[CULTIBASE] リフレクションシートはこちら。運営の参考にもさせていただきます！ https://forms.gle/7cVuFgsoHnwGXzNUA
子育てで待っているとすぐにおとなになっちゃうよ (経験者談)
[CULTIBASE] Schoolに関するご連絡はイベント後のメールでもお知らせさせていただきます https://school.cultibase.jp/
今日もありがとうございました！
ありがとうございました！
ありがとうございました。今日もいろいろな気づきを得られる楽しい時間でした。
ありがとうございました！
[CULTIBASE] 本日のイベントは終了しました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました！